# KSKS ちいろばだより 213

二〇〇〇年十二月十二日　第三種郵便物承認　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

## 福祉の仕事と優生思想

ちいろば会事業管理者　富田忠一

昨今、どの業種でも共通の課題なのかも知れませんが、福祉現場では長く人手不足が続いています。また、採用に至っても 2～3年で退職する人が後を絶ちません。

特にリーマンショック以降、人材募集に応募して下さる方々の多くが、異業種からの転職者です。応募動機を伺うと殆どのみなさんが、「人の役に立つ仕事をしたい」というような内容のお返事をしてくださいます。

職員の入れ替わりは、利用者のみなさんにとって大きな環境変化となってしまうことからもできるだけ長く仕事を続けてもらえるようこの仕事の実態や労働条件等、良いことも悪いことも包み隠さずお話ししたうえで入職していただくのですが、入職後3年を待たず、離職していく人たちが後を絶ちません。その都度、残された利用者は折角、自分の支援者として認識できた人が突然、いなくなってしまったことへの戸惑いから精神的な安定を欠いてしまうことも多く発生します。同時に、それまでの間、新人職員を親身に指導してきた先輩職員も努力が徒労に終わってしまった無力感に苛まれます。このような悪循環が長く続いているのが今の福祉現場です。ちいろば会もまさにこのサイクルから抜け出せずにいる現状です。

福祉現場の人材不足への対策として、国ではハローワークの求職者支援として介護職員初任者研修を無料で受講してもらい就職の斡旋を行っています。上に記した異業種からの転職者にも同様の制度により福祉現場に足を踏み入れた人たちが多く存在します。人材不足の解消にむけて介護職へ誘導することは有効な手段のひとつであると思います。しかし、適性の有無も問わず闇雲に福祉現場へ人材を投入することの弊害も考慮されるべきではないでしょうか。このような対策の背景には「介護くらい誰にでもできる」という社会的評価が存在しているのではないかと感じています。私も実際に『「障害者の世話くらいならあなたにもできるでしょう」と勧められて』この仕事に関心を持ったとういう人を何人か見ています。ここに「障害者差別」「高齢者差別」が存在しています。『生産性の無い人たちへの対応など重要なものではない』といった優生思想がここに隠れています。「相模原市津久井やまゆり園」事件の要因のひとつにはこのような優生思想に基づく差別的な想いをもつ人たちまでもが福祉現場に流入してくる構造的課題も存在していると感じています。

私たちは目先の尺度で人の優劣を判断し、自分より劣る者の存在を確認することで自己の安定をはかろうとしてしまいます。それが優生思想であり差別の構図です。私たち自身が差別の構図に陥らないよう自己検証し続けるとともに、「障害をもつ人」「ご高齢のみなさん」が存在することの大切さやその方々への「支援や介護」の重要性を正しく社会へ発信し続けなければなりません。

# 社会福祉法改正に思う

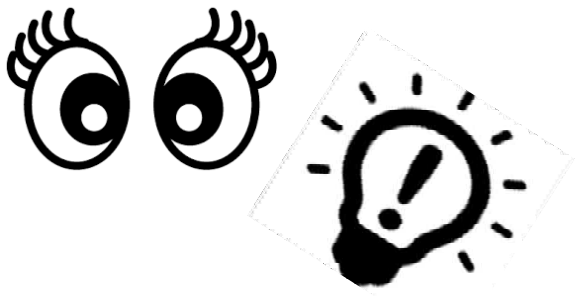
ちいろば会事務長　和田　泰子

社会福祉法人制度を大きく改革する法案が２０１６年３月３１日に成立し公布されました。改正社会福祉法は２０１７年４月１日から施行（一部は２０１６年４月１日から施行）されますが、その中でも最も大きな改正である「社会福祉法人制度の改革」には、（１）経営組織の在り方の見直し（２）事業運営の透明性の向上（３）財務規律の強化（４）地域における公益的な取組を実施する責務（５）行政の関与の在り方の５つのポイントがあり、その中でも既存法人にも大きく影響するポイントは以下の通りではないでしょうか。

まず「経営組織の在り方の見直し」では、これまでは法人設立時の想いや理念に共感する人たちが法人運営に携わり、それぞれに独自性が感じられる法人運営になっていたと思うのですが、この改革における役員の就任要件等を見ると福祉に携わる「専門家」等、誰もが容易に就任できるものではなくなり、どこの法人も独自性がなくなってしまうのではないかと思います。

そして、「財務規律の強化」では、社会福祉法人の内部留保の肥大化・不透明化に対する世間の批判に応える措置として、繰越金を明確にし必要経費以外を福祉サービスへ再投下するように掲げています。多くの法人は、法人理念に賛同し応援して下さる方々からの寄附金等で土地建物の償還をしたり、将来の事業に繋げるために経営努力をして繰越金を拠出してきたと思います。その繰越金が内部留保と位置付けられ地域の福祉サービスへ再投下することになるのです。もちろん、地域に根差した福祉サービスは必要だと思いますが、「地域における公益的な取組を実施する責務」を、社会福祉法人に押し付けることで行政の責務が薄れてしまうのではないでしょうか。

今回の改正内容をみていく中で、数年前から福祉業界でも社会福祉法人の合併について囁かれるようになっていたことを思い出しました。特に小さな法人は今回の制度改革が逆風となり合併せざるを得ないということも十分にあり得る話だと感じ、これが本当に必要な改革かと疑問に思います。しかし、施行されてしまったからには準備作業を始めなければなりません。改革に伴い既存法人は現行の定款の変更が必要となります。組織にとって一番大事な作業になるのですが、これまで詳細な説明はなく奈良県でもようやく１１月に説明会が開催されます。制度改革に対応するための準備作業を適切に進めていくためには制度改革全体を正確に理解したうえで、対応漏れのないように準備を進めていく必要がありますが、あまりにも短い準備期間と手探りの準備作業になることに不安を抱いています。



## 見つけた！！合理的配慮！！

ちいろば園　大西　理子

今年の外出レクリエーションで、私たちのグループはトップバッターで、大阪にあるりんくうタウンに行ってきました。外出先で、合理的配慮を発見することができました！反対に、ここにはもっとこういうものがあったらいいのになあ・・・という発見も。

今回、電車でりんくうタウンに向かいました。現地の駅に向かうまでに、新今宮駅でトイレ休憩をしました。すると、女性トイレには、和式トイレしかありませんでした。私1人で利用していたら、気づきませんでしたが、和式でトイレが難しい人は利用できないなあ、とふと感じました。しかし、違う場所には車いす用のトイレもあるようです。

ですが、ＪＲから南海に乗り換える際のフロアには限られたトイレしかありません。どの場所にも洋式トイレがあったら、もっと快適になるのに！と感じました。

デザートを食べに、お洒落なアイスのお店に入った時の出来事・・・！アイスの種類も豊富で、ややこしい名前がたくさんありました。メンバーにどうやって選んでもらおうかな・・・と少し悩みました。ですが、店内に他のお客さんがいなかったこともあり、レジでゆっくり店員さんが対応してくれました。難しいカタカナの文字ばかりでしたが、私と店員さんでアイスの名前をゆっくり読み上げ、味の説明などをして、メンバーが食べたい物を自分で選ぶことができました。お店の方の配慮を感じることができました。

今回の外出レクリエーション。私1人で出かけていれば気づけなかったことがたくさんありました。また、施設での日々の生活だけでは気づけないことも。みんなと出かけたからこそ、たくさんの発見がありました。もっともっと、色んな場所で良い発見が増えていければと感じる外出となりました！

# ピープルファースト大会IN横浜の報告

生活支援センターななつぼし　井上啓樹

9月21～22日　Ｐ　Ｆ　大会イン横浜にちいろば園13名で参加しました。全体会では津久井やまゆり園事件で殺された１９名の死を悼み、事件を糾弾する声明が発表されました。

「何度も　やまゆり園に献花に行った仲間がいます…社会の偏見や差別を感じ、自分を責め、怒りに震える仲間がいます…虐待はゆるしません！…」いつも賑やかな会場なのに、ふしぎな緊張感のなか、みんな聞き入っていました。

会場内で追悼の献花が行われ、そこで想定外のハプニングが！なんと朝日新聞の記事に私達が献花をし、祈っている写真が載りました！！

二日目の分科会では、前に出て天使役をした人や意見をマイクで言った人など、ほとんどの人が積極的に参加できました。

来年はちいろば園からもっと多くの人がピープルファースト大会に参加し、たくさんの仲間達と交流し、元気と自信を持って帰ってほしいです。　来年の開催地は「広島県」です！！！

## ２０１６ちいろばクリスマスクッキー

マカダミアナッツがたっぷり入ったとってもリッチな

『マカダミアナッツ＆チョコチップクッキー』　と

バンホーテンココアとクーベルチョコを使用した濃厚な　『ココアクッキー』　の

２種類が入っています。

１袋　３００円

（内容量　１００ｇ）

販売期間　１２月１日～２３日

ご予約受付中です！！

# ちいろば会職員リレー　エッセー

## この職種を選んだ理由

ちいろば園　岡本　千秋

私は、ちいろば園でパート職員として働いている岡本千秋です。

私が、「この職種を選んだ理由」は２０年前になりますが、趣味である野球観戦で、私の席が、たまたま車いす席の近くになり、一緒に応援して、試合が盛り上がった時など周りのファンは、もちろん障害者の人や付き添いの人みんなでハイタッチなどして盛り上がり、試合後に付き添いの人からお礼を言われ、「大変な仕事やなあ。」と分かりつつも、「障害者の笑顔を見ることのできる仕事やなあ」と思いましたが、その頃は、資格のいる仕事と思っていたので、諦めて長年、事務職をしていました。

そんな時、ちいろば園が、知的障害者支援の募集をしていると知り、以前したかった仕事が出来ると思い、面接を受け採用していただきました。

色んなことがあると思いますが、利用者さんの笑顔をたくさん見れるように、頑張っていきたいと思います。

次は、ちいろば園の遠藤さんにバトンを渡したいと思います。
よろしくお願いします。
テーマは、引き続き「この職種を選んだ理由」です。

わたし

ぼくの

# ピカッ 1 写真館

～好きなもの、気になるもの、興味のあるもの～

「ほうれん草と春菊」

園芸部門　藤本千絵さん

園芸班では野菜畑でほうれん草と春菊を栽培しています。

私の中ではたくさん収穫できたらうれしいし、楽しみ！（^ ^）／

収穫ができたら買って、ユイマールの朝ごはんに使いたいと思っています。

「いいこと」

喫茶部門　井原由夏さん

私は金曜日がとても楽しみです。

一週間頑張ったら「いいこと」があるからです。

それは・・・マクドナルドのポテトを食べたり、喫茶ドンキーのブルーベリージュースを飲んだりできるんです。

「いいこと」があるから頑張れます。

「キャラメルポップコーン」

軽作業一階部門　平山恵理さん

検品の仕事が好きです。

少しのズレ歪みも見逃さず、仕分けしています。

# ちいろば クリスマスコンサート 2016

## 「チェンバロの響きが織りなすバッハの世界」

～ 名曲「ゴールドベルグ変奏曲」を、お話と共にお届けします！ ～

12月10日（土）

開場　14:30　　開演　15:00

会場　ちいろば園

≪ 演奏者 ≫

チェンバロ　：　河野 まり子

≪ プログラム ≫

J.S.バッハ:ゴールドベルグ変奏曲 BWV988

（アリアと 30 の変奏曲）

★チケットはちいろば園、愛の園幼稚園で予約・販売しています

★ 大人:1000円　こども:(小学生以下)800円

【スウィーツセット付（焼き菓子＋飲み物)】

★ チケット予約・販売・お問い合わせ

ちいろば園 住所 ： 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14

TEL ：0745-72-1923

☆後援会年会費《ちいろばだより年間購読料》（2016 年 8 月 1 日～2016 年 9 月 30 日）
塚原一典、中村康子、藤澤信弘・ゆき子、藤澤信也、新宮由士、本田佳子

☆後援会費（2016 年 8 月 1 日～2016 年 9 月 30 日）
篠原範子(8.9)、レインボークラブ、ガールスカウト、北飯史子

以上　敬称は略させていただきます

## ＝熊本地震による被災障害者支援のための新拠点整備にかかるご支援のお願い＝

熊本地震の被災障害者支援における新拠点の整備にかかる内部の什器備品費や外構工事費、今後の活動にかかる諸費用が今のところ捻出できておりません。つきましては、これまで、被災地障害者センターくまもとへ募金活動などの義援金を頂いておりましたが、今後は、一般社団法人「障害者がともに暮らせる地域創生館」に対して、義援金を賜りたくお願い申し上げる次第です。
法人の口座は下記の通りですので、ご支援をいただける場合には、この口座でお願いします。

記

【銀行名】ゆうちょ銀行
【名義】シャ）ショウガイシャガトモニクラセルチイキソウセイカン
（一般社団法人障害者がともに暮らせる地域創生館）
【記号】１７１４０　　【番号】３０７０７６８１
**郵便局以外の金融機関から振り込む場合は**
【店名】七一八（読みはナナイチハチ）　　【店番】７１８
【預金種目】普通預金　　【口座番号】３０７０７６８

KSKS　ちいろばだより
編集人／　ちいろば会後援会　　年 6 回　頒価　50 円
連絡先／　奈良県生駒郡三郷町勢野北５－６－１４
TEL：0745-72-1923 FAX：0745-31-5760
発行人／　関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町２－２　東興ビル４Ｆ

二〇〇〇年十二月十二日　第三種郵便物承認　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行